

小規模企業振興のあり方検討に係る意見（11/17 土屋委員）

- 小規模企業の支援機関として、例えば商工会議所や商工会などが考えられるが、それらの機関を利用したことがあるか。利用したことがある場合、そういった支援機関に対してどういった印象を持っているか。また、そうした支援機関の強みやさらに求めたい点はあるか。
- ・利用はあります。商工会議所は、支所長によって対応がまちまちであるが、本当に熱心な対応で融資や大学連携等が進む場合もあります。
 - ・また、商店街振興組合連合会事務局では、担当職員が少なくなっているものの、指導機関として中小企業庁の支援策について十分な指導を受けていると考えている。
 - ・金融機関でいうと、例えば、信用金庫は、支店単位でも支援制度の相談窓口や担当部署があると便利だと思う。
- 小規模企業の持続的発展を図る手段として、事業を将来にわたり継続していく観点からの事業承継が考えられるが、事業承継に当たっての主な課題にはどのようなものがあるか。
また、その解決方法にはどのようなことが考えられるか。
- ・家族の中で継承する者がいなければ、続けることができないのが現状です。
 - ・若い人等で起業意欲のある人がいると思いますが、そう言う人とのマッチングをする機関があれば良いと思う。銀行等にもそうした機能があると思うが、十分機能していないのではないか。
 - ・商工会議所等で支援策等を把握して説明会やマッチングをして頂ければ良いと思いますし、若い人等が増えると考えます。
- 国や道の支援施策の活用に当たり、小規模企業向けに改善してもらいたいことはないか。
- ・いろいろな指導機関が連携し情報の共有化が出来ると良い。
 - ・データベースなどがあって、各機関が利用し、連携しながらサービスの提供をお願いします。